

# 2023 年度 環境経営レポート

運用期間:2023 年 7 月～2024 年 6 月

## Shimizu—Auto



有限会社 シミズオート

発行:2024 年 11 月 20 日

改訂:2025 年 1 月 25 日

## ◆目次◆

1. 組織の概要	…2
1-1 事業概要	
1-2 エコアクション21実施体制	
2. 環境経営方針	…5
3. 環境経営目標と環境経営計画	…6
3-1 環境経営目標	
3-2 環境経営計画	
4. 環境経営目標の実績、環境経営計画の評価・次年度の取組内容	…8
4-1 環境経営目標と実績	
4-2 環境経営計画の評価と次年度の取組	
5. 環境関連法規等の順守状況の確認並びに違反、訴訟等の有無	…14
6. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	…14

# 2023 年度 環境経営レポート

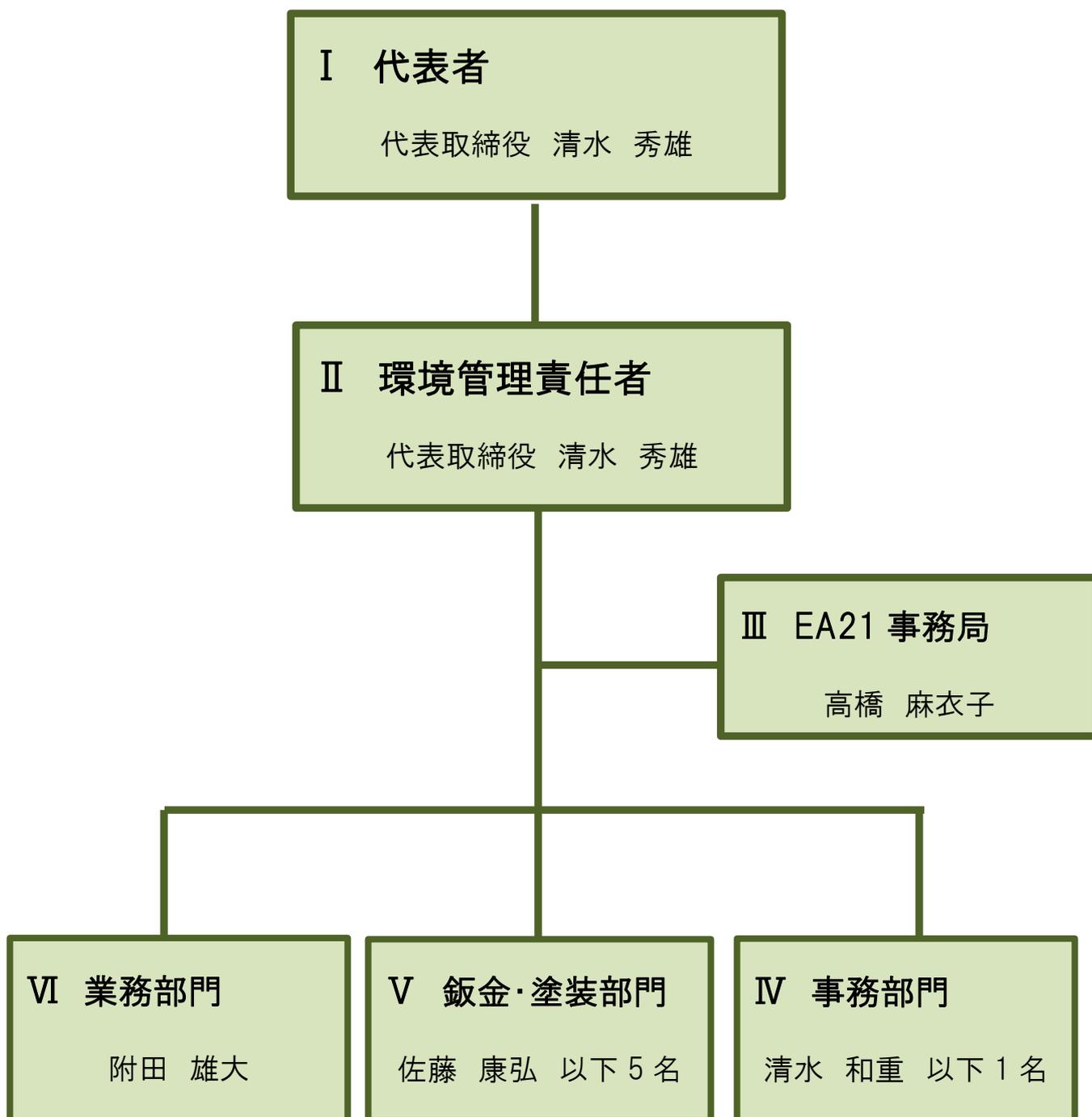
## 1. 組織の概要

### 1-1 事業概要

<b>事業所名</b>		有限会社 シミズオート	
<b>代表者</b>		代表取締役 清水 秀雄	
<b>所在地</b>		本社・事務所	江戸川区北葛西4-17-16
		工場・駐車場	江戸川区北葛西4-16-10
<b>連絡先</b>		TEL	03-3869-4424
		FAX	03-5674-3144
		E-Mail	info@shimizu-auto.co.jp
<b>URL</b>		<a href="http://www.shimizu-auto.co.jp/">http://www.shimizu-auto.co.jp/</a>	
<b>環境管理責任者</b>		代表取締役 清水 秀雄	
<b>事務担当者</b>		清水 和重	
<b>事業活動の内容など</b>	<b>事業活動</b>		自動車钣金・塗装・車検・中古車販売
			損害保険代理業
	<b>規模</b>	<b>従業員数</b>	10 名
		<b>売上高</b>	234 百万円
		<b>事業所面積</b>	400 平方メートル
	<b>所有車両数</b>	35 台(内訳:車両積載車1台、代車 34 台)	
<b>EA21対象範囲</b>		全組織・全活動	

## 1-2 エコアクション21実施体制

### ◆組織図



# 2023 年度 環境経営レポート

## ◆役割・責任・権限

職 名	役割・責任・権限
I 代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備</li> <li>② 環境管理責任者の任命、実施体制の構築</li> <li>③ EA21 全体の評価・見直し</li> <li>④ 環境経営方針・環境経営目標・環境経営レポート等の承認</li> <li>⑤ 経営における課題とチャンスの取りまとめ</li> </ul>
II 環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境経営システムの確立・実施および維持するための処置</li> <li>② 毎月の環境目標の評価・見直し</li> <li>③ 環境教育訓練実施状況確認</li> <li>④ 環境関連法規制等の遵守状況確認</li> <li>⑤ 環境経営方針・環境経営目標・環境経営活動レポートの確認</li> </ul>
III EA21 事務局	<p>環境管理責任者を補佐し、従業員全員参画によるエコアクション21の運営改善を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① EA21 関連文書作成、改廃、記録、伝達業務の推進</li> <li>② 毎月の環境負荷データを整理、把握、記録</li> <li>③ 環境経営システム運用上の事務管理</li> <li>④ 環境経営方針・環境経営目標・環境経営活動レポートの作成</li> </ul>
IV 事務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 不要な照明の消灯</li> <li>② 必要な時以外の空調機器使用禁止</li> <li>③ 環境配慮商品購入の促進</li> </ul>
V 鋳金・塗装部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 廃棄物の分別と適正保管</li> <li>② 管理業者の選定と適正委託</li> </ul>
VI 業務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>① EA21 の取組推進</li> <li>② 作業所の整理整頓</li> <li>③ 作業所の節電・節水</li> </ul>

## 2. 環境経営方針

### < 企業理念 >

弊社は、社員一丸となって顧客サービスの向上に邁進し、常に高い技術力を求め、修得し、お客様の期待を越えたサービスを目指します。

### < 環境理念 >

弊社は、自動車整備が地球環境におよぼす影響を認識し、環境へ配慮した企業を目指し、社会に貢献します。

### < 環境行動方針 >

弊社は、環境理念に基づき、以下の環境行動方針を定めます。

- ① 二酸化炭素排出量削減の推進  
事業活動における電力使用量の低減を図り、エコドライブの実践による化石燃料使用量の低減に努めます。
- ② 廃棄物の排出量削減の推進  
事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別を徹底し、リサイクルを推進することで廃棄物の適正処理を推進します。
- ③ 総排水量削減の推進  
事業所内で使用する水使用量の低減に努めます。
- ④ 事業活動に伴うリサイクル・省エネ・省資源化の推進  
省資源のために、自動車钣金・塗装におけるリサイクル部品の使用を推進します。
- ⑤ 化学物質の適正管理に努めます。  
化学物質の使用量管理。  
江戸川区への適正管理化学物質の使用量等報告書の提出。
- ⑥ 環境関連法規制の遵守  
環境関連法規制等を遵守し、地域社会との調和に努めます。
- ⑦ 東京都自動車車体整備組合及び DRP ネットワーク等、加盟団体の定める環境配慮活動についても遵守します。

社内に環境経営方針を掲示し、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

制 定 2011年01月01日  
改 定 2024年04月03日  
有 限 会 社 シミズオート  
代表取締役 清水 秀雄

# 2023年度 環境経営レポート

## 3. 環境経営目標と環境経営計画

### 3-1 環境経営目標

項目	単位	基準年度 (2019年度)	環境経営目標		
			今年度目標	来年度目標	中長期目標
			2023年度	2024年度	2025年度
① 二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/百万円	220.8 (2019年度)	212.0	209.8	207.6
	kg-CO2 (総量)	49,221 (2019年度)	47,252	46,760	46,267
● 電力※1	kg-CO2/百万円	86.6 (2019年度)	83.1 -4%	82.3 -5%	81.4 -6%
	kg-CO2(総量)	19,306	18,534	18,341	18,148
● ガソリン	kg-CO2/百万円	73.7 (2019年度)	70.8 -4%	70.0 -5%	69.3 -6%
	kg-CO2(総量)	16,428	15,771	15,607	15,442
● 軽油	kg-CO2/百万円	23.5 (2019年度)	22.6 -4%	22.3 -5%	22.1 -6%
	kg-CO2(総量)	5,235	5,025	4,973	4,921
● 灯油	kg-CO2/百万円	37.0 (2019年度)	35.5 -4%	35.2 -5%	34.8 -6%
	kg-CO2(総量)	8,252	7,922	7,839	7,757
● 化石燃料合計	kg-CO2/百万円	134.2 (2019年度)	128.8 -4%	127.5 -5%	126.1 -6%
	kg-CO2(総量)	29,915	28,718	28,419	28,120
② 廃棄物排出量削減					
● 一般廃棄物	kg	2351 (2019年度)	2,257 -4%	2,233 -5%	2,210 -6%
		808 (2019年度)	776 -4%	768 -5%	760 -6%
● 産業廃棄物	kg				
③ 排水量削減	m <sup>3</sup>	212 (2019年度)	204 -4%	201 -5%	199 -6%
④ 自動車整備におけるリサイクル部品の活用	件	194 (2019年度)	202 +4%	204 +5%	206 +6%
⑤ 化学物質使用量削減※2	kg/百万円	4.47 (2019年度)	4.29 -4%	4.25 -5%	4.20 -6%
	kg(総量)	997	957	947	937
● トルエン	kg/百万円	2.46	2.36	2.34	2.31
	kg(総量)	548	526	520	515
● エチルベンゼン	kg/百万円	0.69	0.66	0.66	0.65
	kg(総量)	154	148	147	145
● キシレン	kg/百万円	1.32	1.27	1.25	1.24
	kg(総量)	295	283	280	277

※1 二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)の2020年調整後排出係数0.441kg-CO2/KWhを使用

※2 トルエン・エチルベンゼン・キシレンの合計使用量。

※3 年間売上高は、基準年223.0百万円、今期は234.2百万円。

# 2023 年度 環境経営レポート

## 3-2 環境経営計画

環境目標		取組事項
① 二酸化炭素排出量削減	● 電力使用量削減	空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃) 空気圧縮機のエア洩れ点検 窓に遮光フィルムの貼り付け 省エネタイプエアコンへ更新 ポンプのインバーターによる回転数制御 屋根への遮熱塗料の塗装
	● 化石燃料使用量削減	効率的なルートで配送 エリア別営業活動の見直し アイドリングストップ 急加速・急停車の防止 冷房の控え目使用 燃費のよい車の購入(更新時)
② 廃棄物排出量削減	● 一般廃棄物	分別の徹底 シュレッダー廃紙のリサイクル化 帳票見直しによる印刷物の削減 梱包材の再利用 部品の再利用
	● 産業廃棄物	素材別ボックスの設置 リサイクル業者の開拓 作業ミスによる廃棄量の削減
③ 総排水量の削減	● 排出量抑制	節水シールの貼り付けとポスター掲示 節水弁取り付け 自動水栓取り付け トイレに擬音装置取り付け
④ リサイクル・省エネ・省資源	● 自動車整備におけるリサイクル品の活用	リサイクル部品の積極的活用 リサイクル部品業者の選定開拓 使用件数のチェック
⑤ 化学物質の適正管理	● 化学物質使用量削減	参考として毎年使用量を把握

# 2023年度 環境経営レポート

## 4. 環境経営目標の実績、環境経営計画の評価・次年度の取組内容

### 4-1 環境経営目標と実績

○目標達成 △目標未達成 但し基準年度より改善 ×目標未達成

※総エネルギー使用量は 40,354kg-CO2

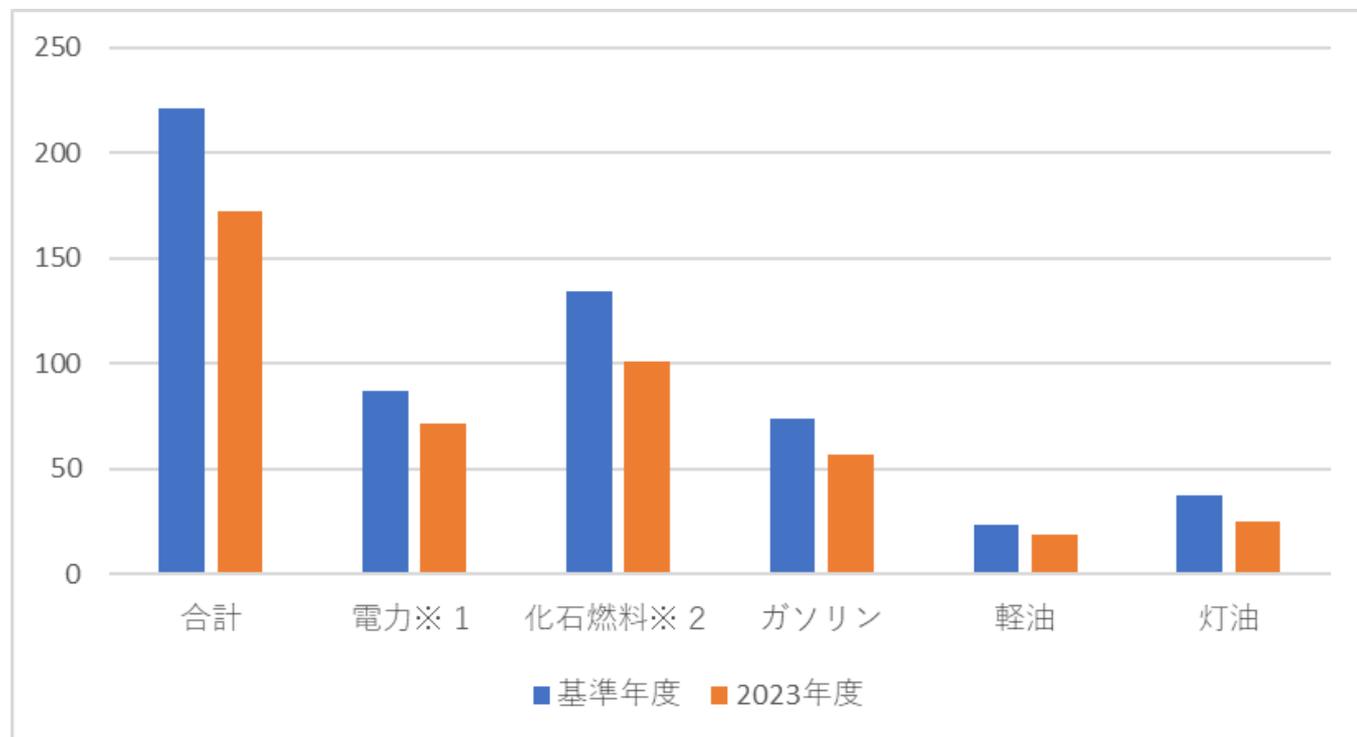
項目	単位	基準年度 (2019年度)	2023年度 目標	2023年度 実績	達成状況
① 二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/百万円	220.8	212.0	172.3	○
				-19%	
	Kg-Co2(総量)	49,221	47,252	40,354	
● 電力	kg-CO2/百万円	86.6	83.1	71.1	○
			-4%	-14%	
	Kg-Co2(総量)	19,306	18,534	16,655	
● ガソリン	kg-CO2/百万円	73.7	70.8	57.0	○
			-4%	-19%	
	Kg-Co2(総量)	16,428	15,771	13,354	
● 軽油	kg-CO2/百万円	23.5	22.6	19.1	○
			-4%	-15%	
	Kg-Co2(総量)	5,235	5,025	4,468	
● 灯油	kg-CO2/百万円	37.0	35.5	25.1	○
			-4%	-29%	
	Kg-Co2(総量)	8,252	7,922	5,877	
● 化石燃料合計	kg-CO2/百万円	134.2	128.8	101.2	○
			-4%	-21%	
	Kg-Co2(総量)	29,915	28,718	23,699	
② 廃棄物排出量削減					
● 一般廃棄物	kg	2351	2257	2120	○
			-4%	-6%	
● 産業廃棄物	kg	808	776	1169	×
			-4%	+50.7%	
③ 排水量削減					
	m <sup>3</sup>	212	204	218	×
			-4%	+7%	
④ 自動車整備におけるリサイクル品の活用					
	件	194	202	107	×
			+4%	-47%	
⑤ 化学物質使用量削減					
	kg/百万円	4.47	4.29	2.42	○
			-4%	-44%	
	kg(総量)	997	957	567	
● トルエン	kg/百万円	2.46	2.36	1.27	○
	kg(総量)	548	526	298	
● エチルベンゼン	kg/百万円	0.69	0.66	0.40	○
	kg(総量)	154	148	95	
● キシレン	kg/百万円	1.32	1.27	0.75	○
	kg(総量)	295	283	175	

※3 年間売上高は、基準年 223.0 百万円、今期は 234.2 百万円。

# 2023 年度 環境経営レポート

## 4-2 環境経営計画の評価と次年度の取組

### ① 二酸化炭素排出量削減(kg-CO<sub>2</sub>/百万円)



※1 CO<sub>2</sub> 排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)の 2020 年実排出係数 0.441kg-CO<sub>2</sub>/KWh を使用

※2 基準年度は 2019 年度

※3 2023 年度 CO<sub>2</sub> 総排出量: 40,354kg-CO<sub>2</sub>

#### ■ 評価

代車を順次エコカーへ入れ替える事により、代車の燃費が上がり、従業員が効率的ルートを使用して納引を行う、アイドリングストップ等、人的努力の成果も上がり、化石燃料の数値が一層改善した。

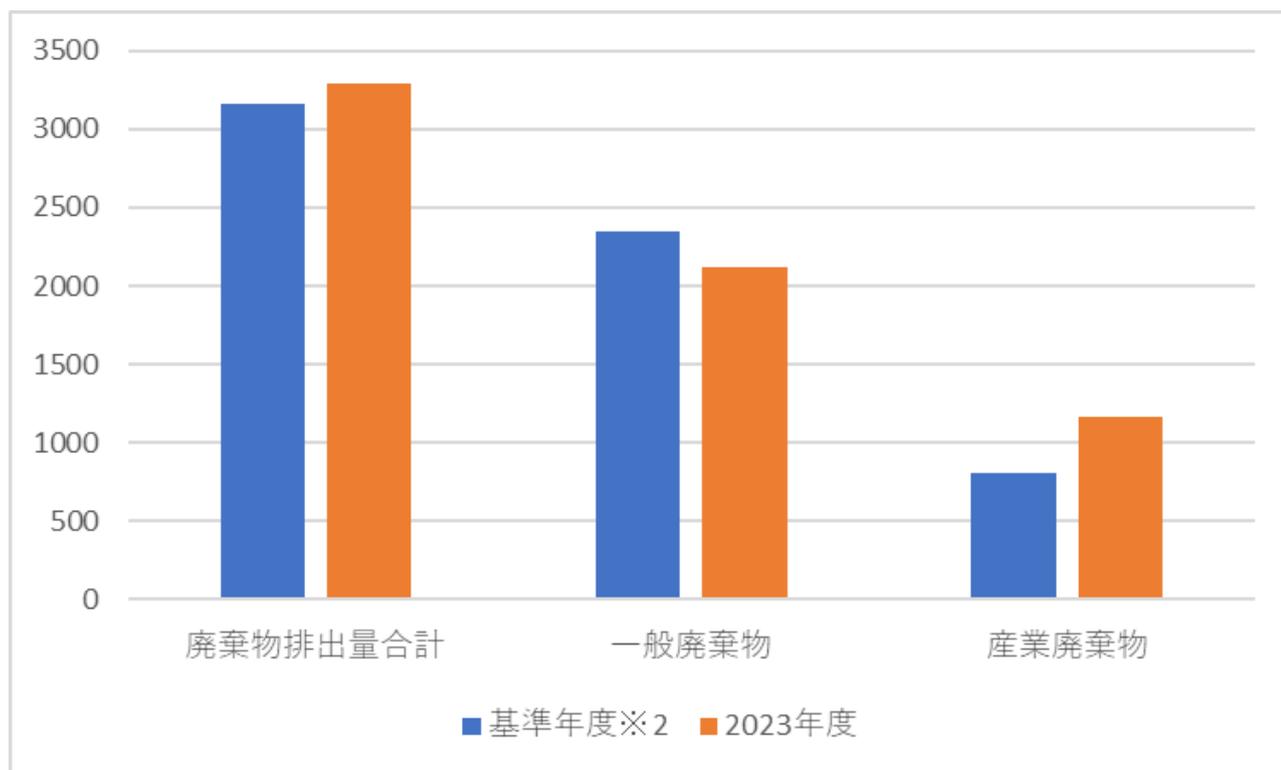
電力や灯油についても、こまめな消灯や作業効率の向上により数値を改善することが出来た。

#### ■ 次年度の取組

今年度の取組を継続して実施します。自社の代車を購入時には環境配慮車両を優先します。

# 2023 年度 環境経営レポート

## ② 廃棄物排出量削減(kg)



※2 基準年度は 2019 年度

### ● 一般廃棄物

#### ■ 評価

新聞紙の再利用によるマスキング紙使用削減、コピー用紙やダンボール等の再処理化が徹底でき一般廃棄物が削減。

#### ■ 次年度の取組

今年度よりも徹底して取組めます。

### ● 産業廃棄物

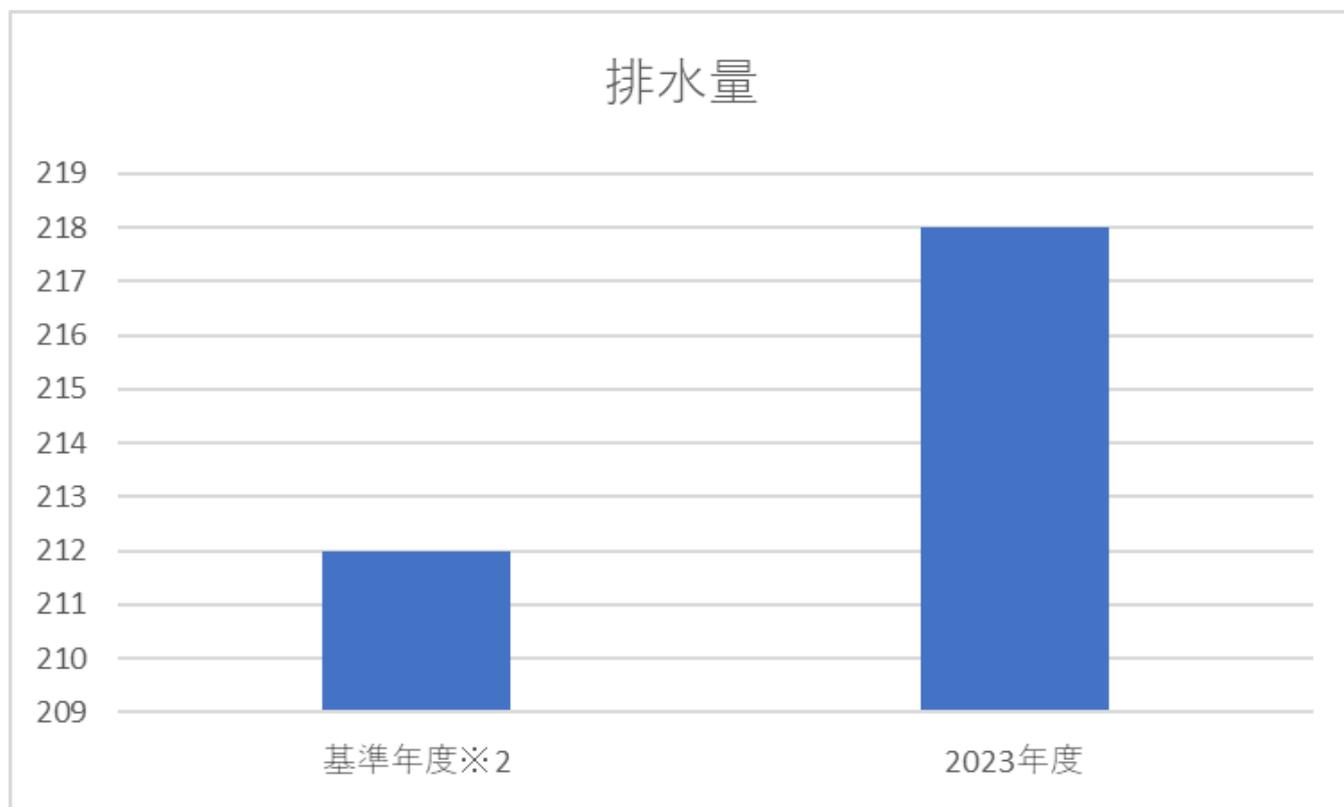
#### ■ 評価

塗料の適正量使用の意識、作業ミスによる廃棄が減ったため、塗料産廃の廃棄物は削減出来た。今年度より混合廃棄物が増えた為、総合的な産業廃棄物は増加した。

#### ■ 次年度の取組

今年度よりも分別、作業ミス低減等に徹底して取組めます。

## ③ 排水量削減(m<sup>3</sup>)



※2 基準年度は 2019 年度

### ■ 評価

修理や車検による入庫件数の増加に伴い、洗車台数も増加、節水タイプノズルの活用、節水の声掛けは続けていたものの、目標は未達成となった。

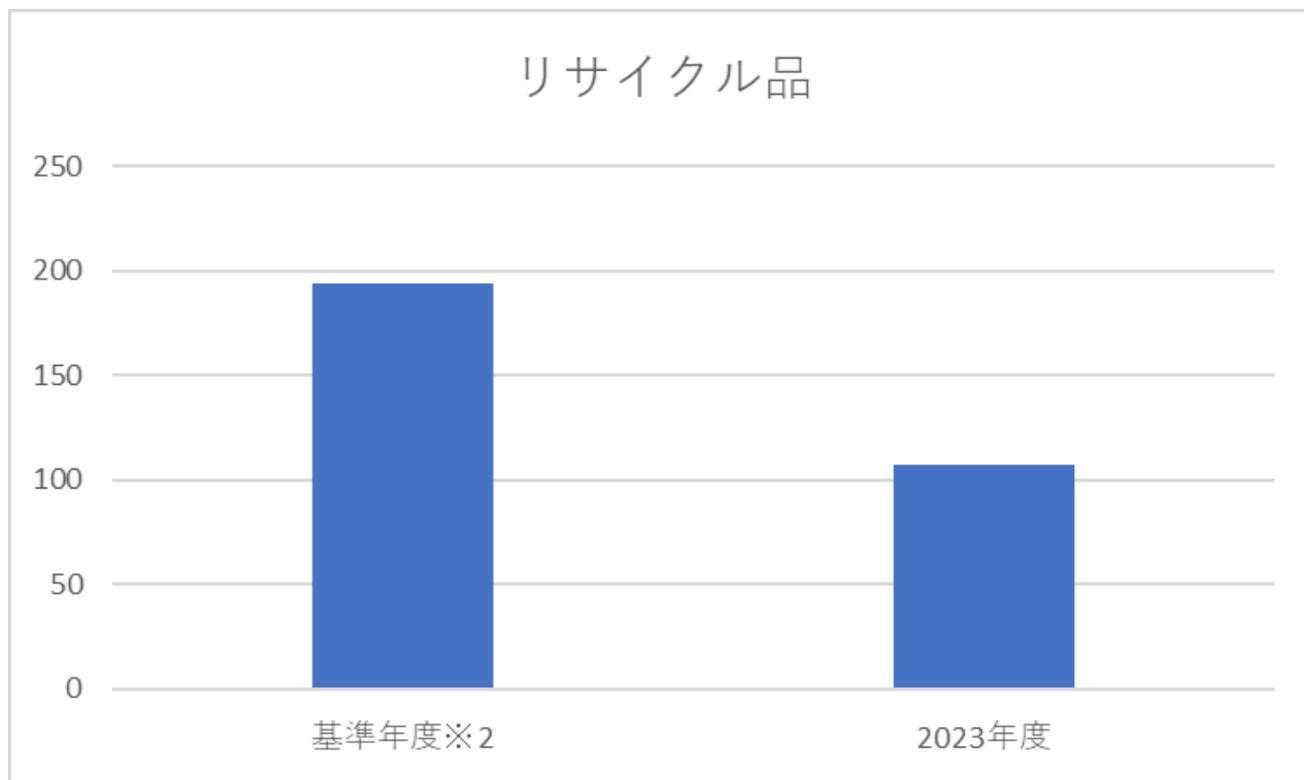
### ■ 次年度の取組

入庫台数に比例して洗車台数が増える為、やむを得ない部分もあるが、水回りの張り紙、より節水効果の高い節水ノズルへの交換、洗車効率の見直し、朝礼昼礼での声掛けなどで啓発していく。

## ④ 自動車整備におけるリサイクル品の活用

□

### ■ 評価



※2 基準年度は 2019 年度

2019 年の 194 件に対し

2023 年度 107 件(バンパ-類、ドア、ミラ-の計)と伸び悩んだ。

リサイクル部品市場自体の在庫不足が大きな要因である。

必要な時に必要なリサイクル部品をタイミング良く入荷することが難しかった。

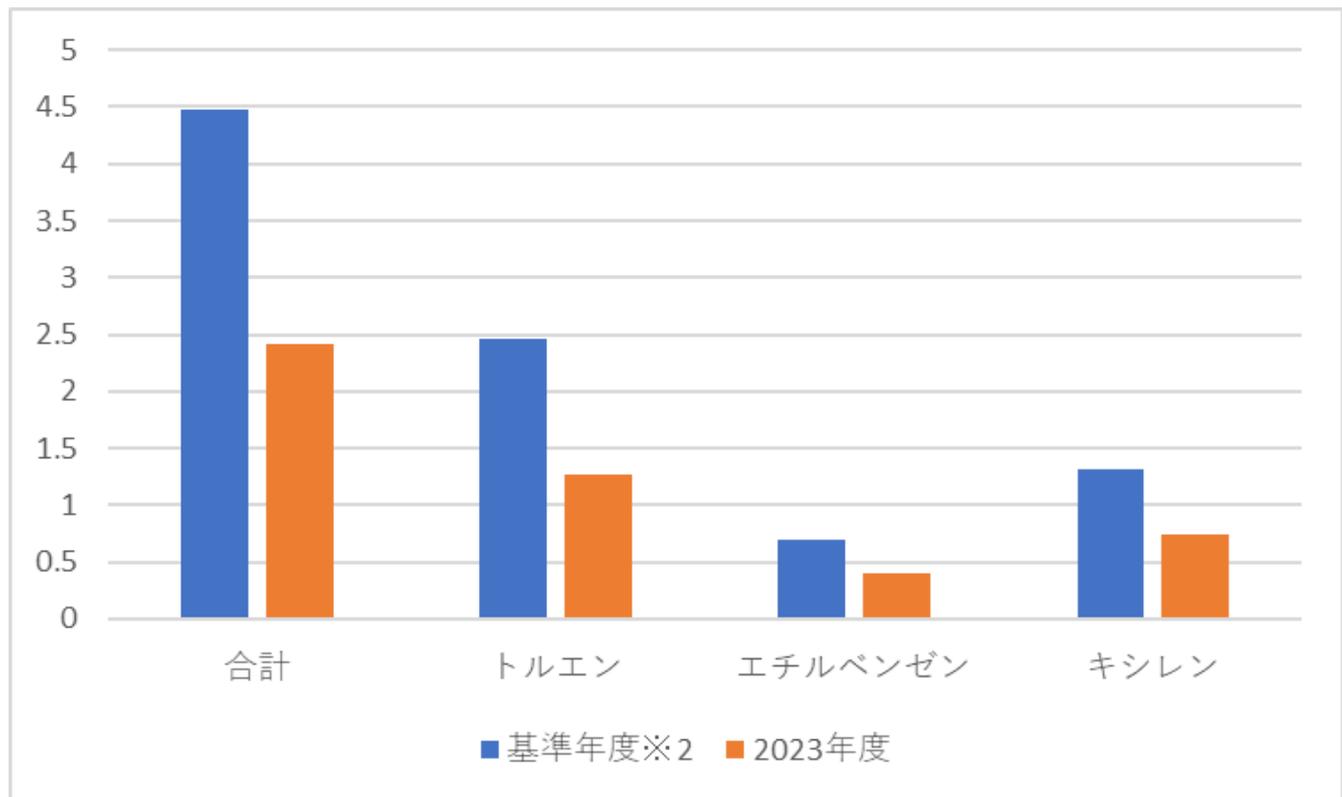
### ■ 次年度の取組

仕入れ先への働きかけ、さらに積極的なリサイクル部品の採用、顧客への丁寧な説明。

リサイクル部品業者の見直しをしていく。

# 2023 年度 環境経営レポート

## ⑤ 化学物質使用量削減(kg/百万円)



※2 基準年度は 2019 年度

### ■ 評価

トルエン、エチルベンゼン、キシレン全てで削減でき、全体としても目標を達成する事が出来た。塗料メーカーによる塗料の改善によるところも大きいですが、極力環境に優しい塗料を選択し、使用時適正量の徹底を指導し、目標達成を目指します。

### ■ 次年度の取組

今年度の取組を継続します。

# 2023 年度 環境経営レポート

## 5. 環境関連法規等の順守状況の確認並びに違反、訴訟等の有無

### ■ 当社事業に係わる主な環境関連法規

法令名称	対象設備・作業
廃棄物処理法	産業廃棄物の排出
消防法	消防用設備(消火器)
家電リサイクル法	エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機の廃棄時
自動車リサイクル法	自動車廃棄時
悪臭防止法	自動車分解整備業務
フロン排出抑制法	自動車分解整備業務(外部委託)
高圧ガス保安法	自動車分解整備業務
第二種特定製品が搭載されている自動車の整備の際のフロン類の回収及び運搬に関する基準を定める省令	自動車分解整備業務
江戸川区 廃棄物条例	一般廃棄物の排出
東京都 環境確保条例	アイドリングストップの周知

### ■ 環境関連法規の順守評価

上記、当社に適用される主な環境関連法規などの違反はありませんでした。  
また、関係当局からの違反などの指摘は過去 3 年間なく、訴訟などありませんでした。

## 6. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

当社のエコアクション21の取組は 11 年目を迎えました。  
環境取組について、朝礼時に繰り返し従業員に指導を行うことにより、環境意識が根付いています。  
今年度は、昨年導入した環境配慮型の「新型塗装ブース」稼働により、工程時間を短縮し作業効率改善を実現しました。钣金塗装には欠かせない塗料やシンナー等の化学物質についても塗料メーカー等の取組により有害物質の含有量が削減されています。2024 年 11 月には江戸川区の補助金を活用し、工場照明の LED 化を実施しました。次年度の消費電力に変化が見られるものと期待しています。今後も常に環境を意識した現場レベルでの取り組みを加速させていきます。

